

■堀悌吉 海軍軍人。山本五十六・井上成美が信頼、"戦争自体は悪"の持論で本流外され、才幹を惜しまれた。

ほりていきち  
岩倉具視没・1883＝ 大分県速見郡杵築町で、矢野弥三郎の次男に生まれる。母はタマ。

帝国憲法発布1889＝ 6歳：

大本教・・・・1892＝ 9歳：  
郡司千島探検1893＝10歳：杵築煙硝倉の士族堀正治の養子となる。  
日清戦争始・1894＝11歳：

田中正造直訴1901＝18歳：杵築中学校を中途退学し、海軍兵学校(32期)に入校。同期生の山本五十六、2期後輩の古賀峯一と親友になる。芸術を好むとともに、同期生が"神様の傑作のひとつ堀の頭脳"と述べたほどの秀才で、

日露戦争始・1904＝21歳：192名中首席で卒業。海軍少尉候補生となり、{韓崎丸}に乗組、日露戦争勃発で近海航海限定となる。  
日露戦争終・1905＝22歳：戦艦{三笠}乗組んで日本海海戦に参戦。海軍少尉となり、戦艦{富士}乗組。  
満鉄発足・・・・1906＝23歳：3等駆逐艦{春風}に乗組。  
韓国反日暴動1907＝24歳：巡洋戦艦{筑波}に乗組んで、南洋から米欧方面に巡航。海軍中尉、海軍砲術学校普通科学生。  
アラビヤ創刊・・・・1908＝25歳：通報艦{淀}に乗組。  
伊藤博文暗殺1909＝26歳：海軍大尉、通報艦{淀}分隊長。海軍大学校乙種学生となり、  
韓国併合・・・・1910＝27歳：恩賜で卒業、高等科第6期学生も修了し、戦艦{朝日}分隊長。  
大逆事件判決1911＝28歳：横須賀鎮守府附軍法会議判士。  
明治天皇没・1912＝29歳：  
大正政変・・・・1913＝30歳：フランス駐在陸海軍観戦武官。  
第一次大戦始1914＝31歳：海軍少佐。  
21ヶ条要求・1915＝32歳：帰国し、戦艦{扶桑}分隊長。海軍大学校甲種第16期学生も、

本格政党内閣1918＝35歳：\_首席で卒業し、海軍省軍務局員となる。  
ベルサイユ条約・1919＝36歳：海軍中佐、

原敬首相暗殺1921＝38歳：\*ワシントン軍縮会議では随員を務め、全権加藤友三郎を補佐。"国防は軍人の専有物にあらず"という加藤の言葉を筆記。

水平社結成・1922＝39歳：横須賀鎮守府附。連合艦隊砲術参謀兼第1艦隊砲術参謀。  
関東大震災・1923＝40歳：海軍大佐、軽巡洋艦{五十鈴}艦長。  
護憲三派圧勝1924＝41歳：海軍省に出仕し、官房服務兼軍政調査会幹事。軽巡洋艦{長良}艦長。  
治安維持法・1925＝42歳：軍令部に出仕。外務省事務嘱託としてフランスに出張。軍令部参謀。  
円本時代始・1926＝43歳：国際連盟陸海軍問題常設諮問委員会及び軍備縮小委員会準備委員会の日本海軍代表、  
金融恐慌・・・・1927＝44歳：兼ジュネーブ海軍軍縮会議全権随員を務めて、帰国。戦艦{陸奥}の艦長になる。  
共産党事件・1928＝45歳：海軍少将、第2艦隊参謀長。  
世界恐慌・・・・1929＝46歳：海軍省軍務局長兼将官会議議員となり、  
海軍軍縮条約1930＝47歳：レジオンドヌール・コマンドゥール勲章を受章。\*ロンドン海軍軍縮会議で、英米に対しては不戦が望ましいという意見をもって、次官の山梨勝之進を補佐し、条約に調印しが、艦隊派が台頭する海軍内で立場は弱くなり、海軍中央から遠ざけられ、

満州事変・・・・1931＝48歳：軍令部に出仕し、第3戦隊司令官、  
五一五事件・1932＝49歳：第1戦隊司令官を歴任、  
国際連盟脱退1933＝50歳：\_海軍中将に昇進したが、  
帝人疑獄事件1934＝51歳：勲二等旭日重光章受章。\*艦隊派が主動したいいわゆる大角人事により、予備役に編入された。このとき山本五十六は'巡洋艦戦隊と堀の頭脳の、どちらが重要か分かっているのか'と嘆き、自らも海軍を退くことを考えたというが、逆に、山本を励まし思いとどまらせた。その後も山本から信頼され、

芥川直木賞始1935＝52歳：退職して生家に帰り、「矢野氏系伝記」を著述。  
二二六事件・1936＝53歳：日本飛行機取締役社長就任。日本はロンドン海軍軍縮条約からの脱退、無期限軍備拡張の時代へ。  
日中戦争始・1937＝54歳：  
第二次大戦始1939＝56歳：没後に遺品から発見されることになる、\_山本の書いた1939年5月31日付と、  
日米開戦・・・・1941＝58歳：日本飛行機取締役社長を辞任し、浦賀ドック取締役社長就任。\_まさに日米開戦の1941年12月8日付の「述志」二通を託されて保管、  
・・・・・・・1942＝59歳：大日本兵器取締役就任。  
敗戦・・・・1945＝62歳：浦賀ドック取締役社長辞任、大日本兵器取締役辞任。  
新憲法公布・1946＝63歳：「\_ロンドン軍縮会議と統帥権問題」を公表。山本の「述志」の内容も公開、  
新憲法施行・1947＝64歳：\_公職追放となる。

独立回復・・・・1951＝68歳：新海軍再建委員会顧問。数社の役員、顧問等をするうち、  
メデヤ事件・1952＝69歳：公職\_追放解除となったが、

55年体制始・1955＝72歳：

美智子妃・・・・1959＝76歳：東京世田谷で、\_没した。